



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 阪和興業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8078 URL <https://www.hanwa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 本田 恒 (TEL) 03-3544-2000
 四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 608,742 | △8.5 | 16,277 | △32.6 | 16,012 | △52.0 | 11,492 | △51.9 |
| 2023年3月期第1四半期 | 665,580 | 47.1 | 24,143 | 78.8 | 33,332 | 137.6 | 23,917 | 152.0 |

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 13,157百万円(△60.9%) 2023年3月期第1四半期 33,680百万円(143.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2024年3月期第1四半期 | 円 銭 282.81 | 円 銭 — |
| 2023年3月期第1四半期 | 588.55 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|------------------|----------------|-----------|-----------------|
| 2024年3月期第1四半期 | 百万円 1,161,053 | 百万円 319,165 | % 27.0 | 円 銭 7,711.69 |
| 2023年3月期 | 1,157,747 | 308,807 | 26.2 | 7,459.39 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 313,379百万円 2023年3月期 303,127百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------------|----------|--------------|---------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2023年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 50.00 | 円 銭 — | 円 銭 80.00 | 円 銭 130.00 |
| 2024年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | 85.00 | — | 85.00 | 170.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----------|-----|--------|------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,700,000 | 1.2 | 60,000 | △6.4 | 50,000 | △22.2 | 36,000 | △30.1 | 885.89 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2024年3月期1Q | 42,332,640株 | 2023年3月期 | 42,332,640株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期1Q | 1,695,685株 | 2023年3月期 | 1,695,653株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2024年3月期1Q | 40,636,976株 | 2023年3月期1Q | 40,637,267株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | p. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | p. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | p. 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | p. 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | p. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | p. 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | p. 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | p. 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | p. 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | p. 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | p. 7 |
| (セグメント情報等) | p. 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【経済環境】

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国の新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）への対応方針の変更を受けた消費者心理の改善などを背景に、経済活動の正常化がより一層進展した一方で、欧米を中心に金融引き締め政策が継続しており、不動産・金融市場を中心に停滞感をもたらしました。米国や欧州では活動制限の緩和に伴い個人のサービス消費を中心に回復基調は継続しましたが、昨年から行われている急速な金利引き上げに伴う金融不安などを背景に、製造業を中心にやや陰りが生じる形となりました。中国ではゼロコロナ政策の解除を契機とするサービス業の力強い回復が継続しておりますが、欧米経済の減速や巣ごもり需要の終息を背景に製造業を中心に回復ペースが鈍化しました。その他の新興諸国では東南アジア地域を中心に経済活動の正常化が進みました。

国内経済については、政府の感染症対策方針の転換を背景に、インバウンド需要の回復など、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られましたが、製造業においては海外経済の減速などから景況感が下押しされる結果となりました。

【業績の概要】

このような環境において、当第1四半期連結累計期間では、先行きの不透明感から鋼材需要やスクラップ需要などが減少したことに加え、鋼材や非鉄金属、原油などの商品価格が前年同期比では低い水準で推移したことにより、売上高は前年同期比8.5%減少の6,087億42百万円となりました。利益面では、食品事業を除く全ての事業セグメントで減益となり、営業利益は前年同期比32.6%減の162億77百万円となりました。また、戦略的投資先等からの配当収入が減少したことや前期に差益であった為替差損益が差損に転じたこと、プライマリーメタル事業を中心に持分法による投資利益が減少したことなどから、経常利益は前年同期比52.0%減の160億12百万円に、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比51.9%減の114億92百万円となりました。

【セグメント別の状況】

鉄鋼事業においては、景気後退懸念等を背景とする鉄鋼需要の低迷の影響もあり、全体として取扱量が減少したものの、国内建設分野などでのソリューション機能の強化に伴い取扱い案件が増加したことに加え、前第3四半期連結会計期間に連結子会社化した田中鉄鋼販売(株)の業績寄与もあり、増収となりました。一方、利益面では、鉄鋼製品市況下落の影響を受け、海外子会社を中心に利幅が縮小しました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比3.2%増の3,188億11百万円、セグメント利益は前年同期比17.6%減の84億1百万円となりました。

プライマリーメタル事業においては、各種商材価格は調整局面を迎えているものの、ニッケルやフェロクロムを中心に取扱量が増加したことが収益を押し上げました。一方、利益面では、市況下落の影響から利幅が縮小したことに加え、戦略的投資先等からの配当収入の減少や、SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD.からの持分法による投資利益の減少も利益を押し下げました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比4.9%増の615億41百万円、セグメント利益は前年同期比36.3%減の43億2百万円となりました。

リサイクルメタル事業においては、各国の景気後退懸念などからベースメタルの国際価格が前年同期に比べ安値で推移したことに加え、ステンレススクラップや銅スクラップの需要減退の影響を受け取扱量も減少しました。また、ヘッジ目的の商品先渡取引の評価益の計上額が前年同期比で縮小しました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比31.7%減の294億70百万円、セグメント利益は前年同期比82.4%減の8億68百万円となりました。

食品事業においては、取扱量は横ばいであったものの、昨年度から継続するカニ相場下落の影響から、連結子会社も含めて収益を押し下げました。一方で、海老や鶏肉を中心に仕入コスト上昇分の価格転嫁が進み、利幅が改善しました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比1.1%減の287億68百万円、セグメント利益は前年同期比43.8%増の4億97百万円となりました。

エネルギー・生活資材事業においては、PKS（パーム椰子殻）やウッドペレットを中心に取扱量は拡大したものの、石油製品価格が下落に転じた影響が大きく、収益・利益を押し下げました。これらの結果、当事業の売上高は前年同期比22.1%減の690億12百万円、セグメント利益は前年同期比52.8%減の13億29百万円となりました。

海外販売子会社においては、海外における鉄鋼需要の低迷に伴い、インドネシアや米国の販売子会社を中心に取扱量が減少しました。また、鉄鋼製品や非鉄金属製品の市況下落が海外販売子会社全体の利幅を押し下げました。これらの結果、売上高は前年同期比31.2%減の867億89百万円、セグメント利益は前年同期比24.7%減の20億26百万円となりました。

その他の事業においては、木材事業では、ウッドショックの影響が一段落したことから、商品価格が低調に推移した結果、減収・減益となりました。一方、機械事業では、ライフ・アミューズメント分野で複数の大型完工物件があったことなどから、増収・増益となりました。これらの結果、売上高は前年同期比16.2%減の330億25百万円、セグメント利益は15.3%減の15億2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【総資産・負債純資産の状況】

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権や棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末比0.3%増の1兆1,610億53百万円となりました。

負債は、1年内償還予定の社債が満期を迎えたことや、前年度業績を反映した法人税等の納付に伴う未払法人税等の減少などにより、前連結会計年度末比0.8%減の8,418億87百万円となりました。そのうち有利子負債は、前連結会計年度末比8.0%増の4,113億64百万円となり、当第1四半期連結会計期間末のネット負債倍率は、1.0倍（0.9倍※）となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益からの利益剰余金の積み上がりや為替換算調整勘定などの変動により、前連結会計年度末比3.4%増の3,191億65百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の26.2%（28.3%※）から27.0%（29.1%※）に上昇しました。

※ネット負債倍率及び自己資本比率の（ ）内の値は、2019年3月に実施した劣後特約付ローン（ハイブリッドローン）500億円について、格付上の資本性（50%）を考慮して算出しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

【当期の見通し】

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 84,187 | 86,661 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 448,980 | 436,383 |
| 電子記録債権 | 55,570 | 81,427 |
| 棚卸資産 | 253,964 | 259,264 |
| その他 | 87,333 | 60,246 |
| 貸倒引当金 | △1,295 | △1,644 |
| 流動資産合計 | 928,741 | 922,338 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 36,786 | 37,980 |
| その他(純額) | 50,330 | 51,519 |
| 有形固定資産合計 | 87,117 | 89,499 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 10,807 | 10,651 |
| 投資有価証券 | | |
| 投資有価証券 | 99,608 | 99,950 |
| その他 | 34,088 | 40,909 |
| 貸倒引当金 | △2,613 | △2,295 |
| 投資その他の資産合計 | 131,082 | 138,563 |
| 固定資産合計 | 229,006 | 238,714 |
| 資産合計 | 1,157,747 | 1,161,053 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 278,823 | 282,558 |
| 電子記録債務 | 36,701 | 40,148 |
| 短期借入金 | 83,127 | 78,735 |
| コマーシャル・ペーパー | 30,000 | 50,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | - |
| 未払法人税等 | 14,822 | 5,735 |
| 賞与引当金 | 4,355 | 2,367 |
| 製品保証引当金 | 56 | 132 |
| その他 | 101,103 | 62,932 |
| 流動負債合計 | 558,990 | 522,610 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 30,000 | 50,000 |
| 長期借入金 | 224,843 | 229,686 |
| 退職給付に係る負債 | 4,285 | 4,326 |
| その他 | 30,820 | 35,263 |
| 固定負債合計 | 289,949 | 319,276 |
| 負債合計 | 848,940 | 841,887 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 45,651 | 45,651 |
| 資本剰余金 | 26 | 26 |
| 利益剰余金 | 228,920 | 237,482 |
| 自己株式 | △3,730 | △3,730 |
| 株主資本合計 | 270,866 | 279,429 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 23,972 | 23,600 |
| 繰延ヘッジ損益 | 673 | 954 |
| 土地再評価差額金 | 1,975 | 1,975 |
| 為替換算調整勘定 | 8,360 | 10,047 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △2,720 | △2,627 |
| その他の包括利益累計額合計 | 32,260 | 33,950 |
| 非支配株主持分 | 5,680 | 5,785 |
| 純資産合計 | 308,807 | 319,165 |
| 負債純資産合計 | 1,157,747 | 1,161,053 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 665,580 | 608,742 |
| 売上原価 | 626,705 | 576,200 |
| 売上総利益 | 38,874 | 32,542 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,731 | 16,264 |
| 営業利益 | 24,143 | 16,277 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 525 | 883 |
| 受取配当金 | 5,947 | 1,386 |
| 持分法による投資利益 | 2,030 | 346 |
| 為替差益 | 2,916 | - |
| その他 | 456 | 661 |
| 営業外収益合計 | 11,876 | 3,277 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,046 | 2,179 |
| 為替差損 | - | 386 |
| その他 | 640 | 975 |
| 営業外費用合計 | 2,686 | 3,542 |
| 経常利益 | 33,332 | 16,012 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 541 | - |
| 仲裁関連収入 | 248 | - |
| 特別利益合計 | 789 | - |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 268 | - |
| 特別損失合計 | 268 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 33,853 | 16,012 |
| 法人税等 | 9,394 | 4,536 |
| 四半期純利益 | 24,459 | 11,475 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 23,917 | 11,492 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 542 | △16 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,414 | △426 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,644 | 280 |
| 為替換算調整勘定 | 5,110 | 1,644 |
| 退職給付に係る調整額 | 162 | 109 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 888 | 74 |
| その他の包括利益合計 | 9,221 | 1,682 |
| 四半期包括利益 | 33,680 | 13,157 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 32,816 | 13,182 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 864 | △24 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異等を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | | |
|-----------------------|---------------|--------------------------|-------------------------|---------------|---------------------------|----------------------|------------|
| | 鉄鋼事業 (百万円) | プライマリー メタル事業 (百万円) | リサイクル メタル事業 (百万円) | 食品事業 (百万円) | エネルギー・ 生活資材事業 (百万円) | 海外販売 子会社 (百万円) | 計 (百万円) |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 301,850 | 57,418 | 42,378 | 28,915 | 85,301 | 111,548 | 627,414 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 6,983 | 1,255 | 785 | 184 | 3,260 | 14,532 | 27,002 |
| 計 | 308,834 | 58,674 | 43,164 | 29,100 | 88,561 | 126,081 | 654,416 |
| セグメント利益 | 10,191 | 6,751 | 4,926 | 345 | 2,818 | 2,691 | 27,725 |

| | その他 (百万円) (注) 1 | 合計 (百万円) | 調整額 (百万円) (注) 2 | 四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (百万円) (注) 3 |
|-----------------------|-----------------------|-------------|-----------------------|---|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 38,165 | 665,580 | — | 665,580 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,231 | 28,233 | △28,233 | — |
| 計 | 39,397 | 693,813 | △28,233 | 665,580 |
| セグメント利益 | 1,774 | 29,500 | 3,832 | 33,332 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業及び機械事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額3,832百万円は、主に事業セグメントに帰属しない収益及び費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | | |
|-----------------------|---------------|--------------------------|-------------------------|---------------|---------------------------|----------------------|------------|
| | 鉄鋼事業 (百万円) | プライマリー メタル事業 (百万円) | リサイクル メタル事業 (百万円) | 食品事業 (百万円) | エネルギー・ 生活資材事業 (百万円) | 海外販売 子会社 (百万円) | 計 (百万円) |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 312,977 | 60,845 | 28,910 | 28,633 | 67,686 | 78,494 | 577,548 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5,833 | 696 | 560 | 134 | 1,326 | 8,294 | 16,845 |
| 計 | 318,811 | 61,541 | 29,470 | 28,768 | 69,012 | 86,789 | 594,393 |
| セグメント利益 | 8,401 | 4,302 | 868 | 497 | 1,329 | 2,026 | 17,425 |

| | その他 (百万円) (注) 1 | 合計 (百万円) | 調整額 (百万円) (注) 2 | 四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (百万円) (注) 3 |
|-----------------------|-----------------------|-------------|-----------------------|---|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 31,194 | 608,742 | — | 608,742 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,831 | 18,677 | △18,677 | — |
| 計 | 33,025 | 627,419 | △18,677 | 608,742 |
| セグメント利益 | 1,502 | 18,927 | △2,914 | 16,012 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業及び機械事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,914百万円は、主に事業セグメントに帰属しない収益及び費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

2024年3月期 第1四半期連結決算ハイライト

阪和興業株式会社

(単位：億円 億円未満切捨て)

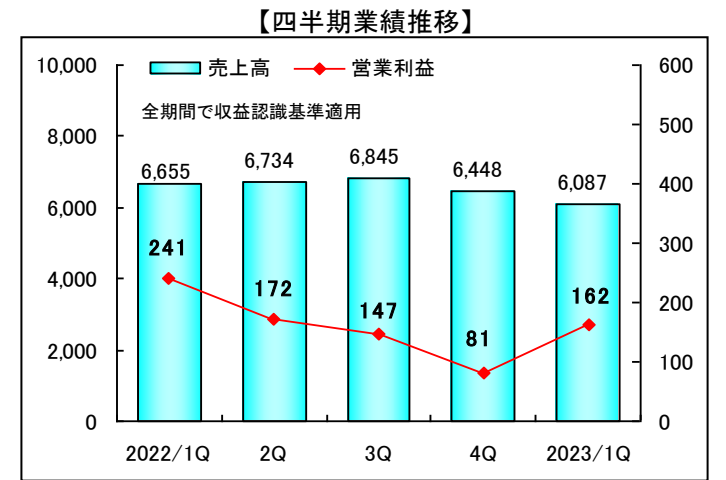
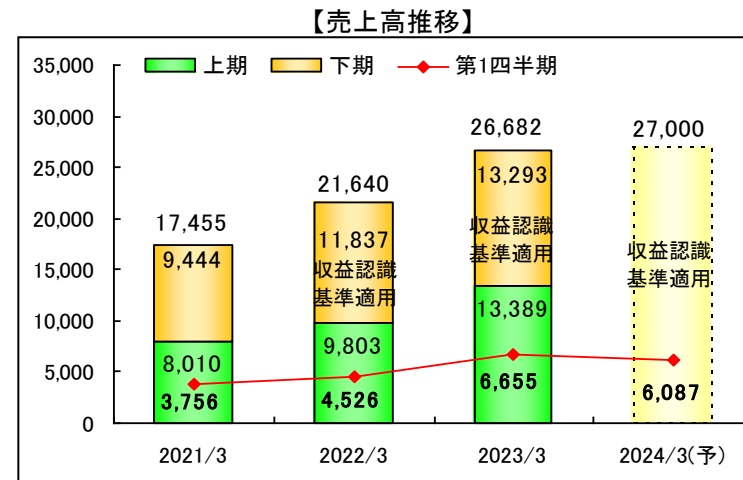
2024年3月期 第1四半期決算の概要

・本年度第1四半期決算は、先行きの不透明感から鋼材需要やスクラップ需要などが減少したことに加え、鋼材や非鉄金属、原油などの商品価格が前年同期比では低い水準で推移したことにより、売上高は前年同期比9%減の6,087億円となりました。利益面では、食品事業を除く全ての事業セグメントで減益となり、営業利益は前年同期比33%減の162億円となりました。また、戦略的投資先等からの配当収入が減少したことや前期に差益であった為替差損益が差損に転じたこと、プライマリメタル事業を中心に持分法による投資利益が減少したことなどから、経常利益は前年同期比52%減の160億円で、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比52%減の114億円となりました。

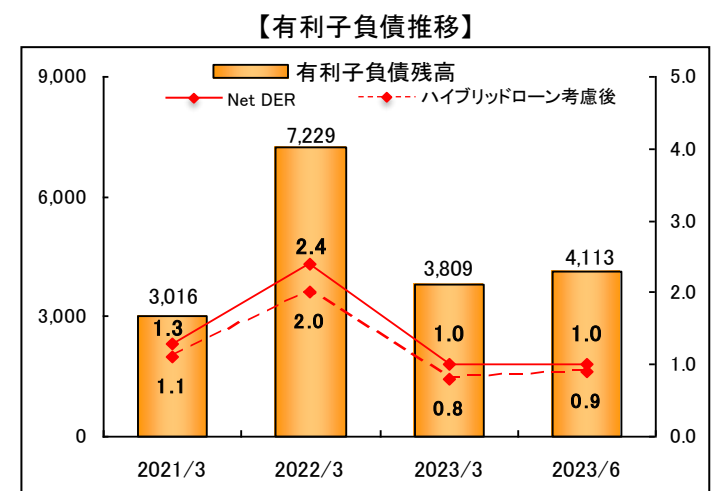
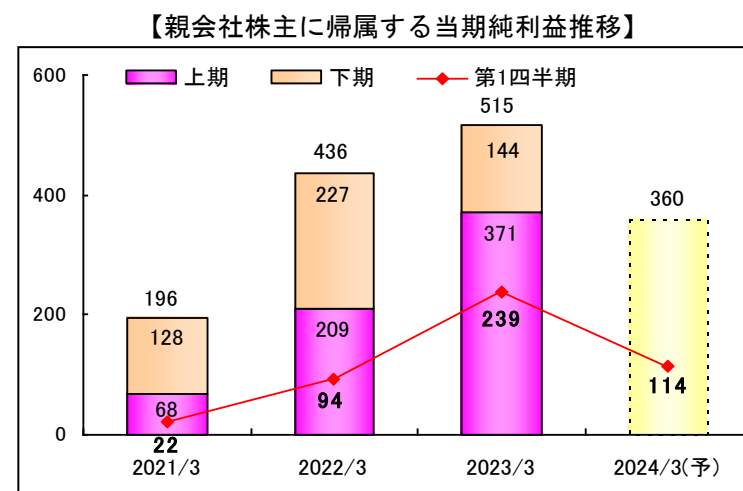
・年間配当は170円（中間配当85円、期末配当85円）を予定しております。

| 経営成績 | 前第1四半期 (累計) | 当第1四半期 (累計) | 前年同期比 | | 主な要因 |
|-----------|----------------|----------------|----------|-------|---|
| | | | 増減 | 増減率 | |
| 売上高 | 6,655 | 6,087 | △568 | △9% | (売上高) 先行きの不透明感から鋼材需要やスクラップ需要などが減少したことに加え、鋼材や非鉄金属、原油などの商品価格が前年同期比では低い水準で推移したことにより、売上高は前年同期比9%減の6,087億円となりました。 (販管費) 前年同期比で15億円（新規連結子会社の影響額は50百万円）の増加でした。 (営業外損益) 営業外収益は85億円減少し、営業外費用は8億円増加しました。経常利益に対する主な影響は以下の通りです。 受取利息：前年同期比で3億円の増加 受取配当金：前年同期比で45億円の減少 持分法投資利益：前年同期比で16億円の減少 為替差益：前年同期比で33億円の減少 支払利息：前年同期比で1億円の増加 (特別利益) 投資有価証券売却益：前年同期比で5億円の減少 仲裁関連収入：前年同期比で2億円の減少 (特別損失) 投資有価証券評価損：前年同期比で2億円の減少 |
| 売上総利益 | 388 | 325 | △63 | △16% | |
| 販管費 | 147 | 162 | 15 | 10% | |
| 営業利益 | 241 | 162 | △78 | △33% | |
| 営業外収益 | 118 | 32 | △85 | △72% | |
| 営業外費用 | 26 | 35 | 8 | 32% | |
| 経常利益 | 333 | 160 | △173 | △52% | |
| 特別利益 | 7 | — | △7 | △100% | |
| 特別損失 | 2 | — | △2 | △100% | |
| 税引前四半期純利益 | 338 | 160 | △178 | △53% | |
| 法人税等 | 93 | 45 | △48 | △52% | |
| 四半期純利益 | 244 | 114 | △129 | △53% | |
| 親会社株主帰属分 | 239 | 114 | △124 | △52% | |
| 非支配株主帰属分 | 5 | △0 | △5 | — | |
| E P S | 588.55円 | 282.81円 | △305.74円 | △52% | |
| 四半期包括利益 | 336 | 131 | △205 | △61% | |

| 財政状態 | 前期末 | 当第1四半期 | 前期比 | | 主な要因 |
|---------------|-------------|-------------|---------|-----|---|
| | | | 増減 | 増減率 | |
| 総資産 | 11,577 | 11,610 | 33 | 0% | (総資産) 売上債権や棚卸資産の増加などにより、前期末比0.3%増となりました。 (負債) 1年内償還予定の社債が満期を迎えたことや、前年度業績を反映した法人税等の納付に伴う未払法人税等の減少などにより、前期末比0.8%減となりました。有利子負債は8%増加し、Net DERは1.0倍(*0.9倍)となりました。 (純資産) 親会社株主に帰属する四半期純利益からの利益剰余金の積み上がりや為替換算調整勘定などの変動により、前期末比3%増となりました。自己資本比率は、前期末比0.8ポイント上昇の27.0%(*29.1%)となりました。 (*ハイブリッドローン考慮後のNet DER及び自己資本比率) |
| (流動資産) | 9,287 | 9,223 | △64 | △1% | |
| (固定資産) | 2,290 | 2,387 | 97 | 4% | |
| 負債 | 8,489 | 8,418 | △70 | △1% | |
| (グロス有利子負債) | 3,809 | 4,113 | 303 | 8% | |
| (ネット有利子負債) | 2,967 | 3,247 | 279 | 9% | |
| Net DER | 1.0/0.8*倍 | 1.0/0.9*倍 | 0 | 6% | |
| 純資産 | 3,088 | 3,191 | 103 | 3% | |
| (株主資本) | 2,708 | 2,794 | 85 | 3% | |
| (その他の包括利益累計額) | 322 | 339 | 16 | 5% | |
| (非支配株主持分) | 56 | 57 | 1 | 2% | |
| B P S | 7,459.39円 | 7,711.69円 | 252.30円 | 3% | |
| 自己資本 | 3,031 | 3,133 | 102 | 3% | |
| 自己資本比率 | 26.2/28.3*% | 27.0/29.1*% | 0.8pt | 3% | |



| セグメントの状況 | 売上高 | | | セグメント損益(経常損益) | | | 主な要因 |
|------------|--------|--------|------|---------------|--------|------|---|
| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 増減率 | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 増減率 | |
| 鉄鋼 | 3,088 | 3,188 | 3% | 101 | 84 | △18% | (鉄鋼) 国内建設分野などでのソリューション機能の強化に伴い取扱案件が増加したことに加え、前第3四半期連結会計期間に連結子会社化した田中鉄鋼販売の業績寄与もあり、増収となりました。一方、利益面では、鉄鋼製品市況下落の影響を受け、海外子会社を中心に利幅が縮小しました。 (プライマリメタル) ニッケルやフェロクロムを中心に取扱量が増加したことが収益を押し上げました。一方、利益面では、市況下落の影響から利幅が縮小したことに加え、戦略的投資先等からの配当収入の減少や、SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD. からの持分法による投資利益の減少も利益を押し下げました。 (リサイクルメタル) 各国の景気後退懸念などからベースメタルの国際価格が前年同期に比べ安値で推移したことに加え、ステンレススクラップや銅スクラップの需要減退の影響を受け取扱量も減少しました。また、ヘッジ目的の商品先渡取引の評価益の計上額が前年同期比で縮小しました。 (食品) 取扱量は横ばいであったものの、昨年度から継続するカニ相場下落の影響から、連結子会社も含めて収益を押し下げました。一方で、海老や鶏肉を中心に仕入コスト上昇分の価格転嫁が進み、利幅が改善しました。 (エネルギー・生活資材) PKS(パーム椰子殻)やウッドペレットを中心に取扱量は拡大したものの、石油製品価格が下落に転じた影響が大きく、収益・利益を押し下げました。 (海外販売子会社) インドネシアや米国の販売子会社を中心に取扱量が減少しました。また、鉄鋼製品や非鉄金属製品の市況下落が海外販売子会社全体の利幅を押し下げました。 |
| プライマリメタル | 586 | 615 | 5% | 67 | 43 | △36% | |
| リサイクルメタル | 431 | 294 | △32% | 49 | 8 | △82% | |
| 食品 | 291 | 287 | △1% | 3 | 4 | 44% | |
| エネルギー・生活資材 | 885 | 690 | △22% | 28 | 13 | △53% | |
| 海外販売子会社 | 1,260 | 867 | △31% | 26 | 20 | △25% | |
| 報告セグメント計 | 6,544 | 5,943 | △9% | 277 | 174 | △37% | |
| その他 | 393 | 330 | △16% | 17 | 15 | △15% | |
| 合計 | 6,938 | 6,274 | △10% | 295 | 189 | △36% | |
| 調整額 | △282 | △186 | △34% | 38 | △29 | — | |
| PL計上額 | 6,655 | 6,087 | △9% | 333 | 160 | △52% | |



| 通期の見通し | 前期実績 | 通期業績予想 | |
|-----------------|--------|--------|--------|
| | | 対前期増減率 | 対前期増減率 |
| 売上高 | 26,682 | 27,000 | 1% |
| 営業利益 | 641 | 600 | △6% |
| 経常利益 | 642 | 500 | △22% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 515 | 360 | △30% |

| 配当の状況 | 前々期末実績 | 前期末実績 | 当期予想 |
|-------|---------|---------|---------|
| | | | |
| 期末 | 50.00円 | 80.00円 | 85.00円 |
| 年間配当 | 100.00円 | 130.00円 | 170.00円 |
| DOE* | — | — | 2.5% |

トピックス
 4月 HANWA AUSTRALIA PTY LTD. を設立。
 HANWA PHILIPPINES CORPORATION を設立。
 東邦金属株式会社の株式の80%を取得し、子会社化。

* DOE(株主資本配当率) = 配当総額 ÷ 期首株主資本